

貸借対照表 (要旨) (単位:億円)

科目	平成14年度末	平成13年度末
資産の部		
現金及び預貯金	2,458	1,971
コールローン	3,500	5,050
買入金銭債権	425	402
金銭の信託	—	150
有価証券	90,988	96,908
うち公社債	53,974	48,508
うち株式	20,964	29,835
うち外国証券	15,721	18,216
貸付金	49,290	51,247
不動産及び動産	9,899	10,170
うち土地	6,006	6,202
うち建物	3,450	3,715
その他資産	3,618	4,481
繰延税金資産	2,479	810
貸倒引当金	△229	△377
資産の部合計	162,431	170,816

科目	平成14年度末	平成13年度末
負債の部		
保険契約準備金	147,866	151,712
支払備金	961	1,004
責任準備金	143,342	146,326
社員配当準備金	3,562	4,380
その他負債	7,512	9,996
退職給付引当金	626	1,437
債権売却損失引当金	0	0
偶発損失引当金	324	49
価格変動準備金	722	697
再評価に係る繰延税金負債	372	374
負債の部合計	157,424	164,266
資本の部		
基金	1,000	600
基金償却積立金	1,200	1,000
再評価積立金	2	2
剰余金	862	920
損失てん補準備金	16	15
任意積立金	143	514
当期末処分剰余金	702	390
土地再評価差額金	658	661
株式等評価差額金	1,282	3,364
資本の部合計	5,006	6,549
負債及び資本の部合計	162,431	170,816

損益計算書 (要旨) (単位:億円)

科目	平成14年度	平成13年度
① 経常収益		
保険料等収入	21,847	22,776
資産運用収益	4,405	4,771
うち利息及び配当金等収入	3,558	3,640
うち有価証券売却益	832	1,120
その他経常収益	5,063	3,637
うち責任準備金戻入額	2,984	1,482
② 経常費用		
保険金等支払金	21,486	21,349
責任準備金等繰入額	5	155
資産運用費用	3,243	4,049
うち有価証券売却損	733	859
うち有価証券評価損	1,244	2,208
うち特別勘定資産運用損	928	515
事業費	2,732	2,978
その他経常費用	2,546	2,429
③ 経常利益 (=①-②)	1,299	224
④ 特別利益		
うち不動産動産等処分益	24	136
うち貸倒引当金戻入額	96	—
⑤ 特別損失		
うち不動産動産等処分損	138	335
うち退職給付会計基準変更時差異処理額	137	137
⑥ 税引前当期剰余 (=③+④-⑤)	433	75
⑦ 法人税及び住民税	498	152
⑧ 法人税等調整額	△492	△220
⑨ 当期剰余 (=⑥-⑦+⑧)	427	143
⑩ 前期繰越剰余金	—	291
⑪ 土地再評価差額金取崩額	3	△54
⑫ 任意積立金目的取崩額	272	9
⑬ 当期末処分剰余金 (=⑨+⑩+⑪+⑫)	702	390

剰余金処分案 (単位:億円)

科目	平成14年度	平成13年度
当期末処分剰余金		
任意積立金取崩額	1	465
危険準備積立金取崩額	—	419
不動産圧縮積立金取崩額	1	—
不動産圧縮特別勘定積立金取崩額	—	46
計	704	856
剰余金処分額		
社員配当準備金	476	285
差引純剰余金	227	571
損失てん補準備金	1	0
基金償却積立金	—	200
基金利息	6	3
役員賞与金	—	0
任意積立金	219	366
基金償却準備金	200	—
価格変動積立金	—	292
退職給与積立金	3	4
社会厚生事業増進積立金	4	4
不動産圧縮積立金	—	66
不動産圧縮特別勘定積立金	12	—

平成14年度の剰余金処分案につきましては、7月に実施する総代会で承認を受けるまでは確定ではありません。承認結果につきましては、総代会後の決算公告にてお知らせいたします。なお、ディスクロージャー資料「明治生命の現況」および当社ホームページ上でもお知らせいたします。

基礎利益 (単位:億円)

項目	平成14年度	平成13年度
基礎利益 A [①-②]	2,592	2,586
基礎収益 ①	30,478	30,117
保険料等収入	21,847	22,776
うち保険料	21,841	22,763
資産運用収益(注1)(注2)	3,567	3,650
うち利息及び配当金等収入	3,558	3,640
その他経常収益(注2)	5,063	3,690
基礎費用 ②	27,886	27,531
保険金等支払金	21,486	21,349
うち保険金	7,370	6,313
うち年金	1,556	1,394
うち給付金	4,579	4,708
責任準備金等繰入額	5	155
資産運用費用(注2)	1,114	619
事業費	2,732	2,978
その他経常費用	2,546	2,429
キャピタル損益 B	△1,288	△2,149
臨時損益 C	△4	△212
経常利益 A+B+C	1,299	224

(注) 1. 資産運用収益には、金銭の信託運用増益のうち利息及び配当金等収入に該当する金額(平成14年度:4億円、平成13年度:5億円)を含みます。
2. 基礎利益算出上の数値を表します。

リスク管理債権額 (単位:億円)

区分	平成14年度末	平成13年度末
破綻先債権額	18	12
延滞債権額	98	164
3ヵ月以上延滞債権額	—	—
貸付条件緩和債権額	101	112
合計	218	290
(貸付残高に対する比率)	0.44%	0.57%

有価証券の含み損益 (一般勘定) (単位:億円)

区分	平成14年度末			平成13年度末		
	帳簿価額	時価	含み損益	帳簿価額	時価	含み損益
公社債	51,226	54,317	3,090	45,377	47,500	2,123
株式	17,030	17,067	37	22,037	25,101	3,064
外国証券	10,583	12,122	1,538	12,142	14,111	1,968
その他共計	79,104	83,774	4,670	79,887	87,023	7,135

(注) 1. 時価のある有価証券等の含み損益相当額を記載しています。
2. 「その他共計」には買入金銭債権等を含みます。

ソルベンシー・マージン比率 (単位:億円)

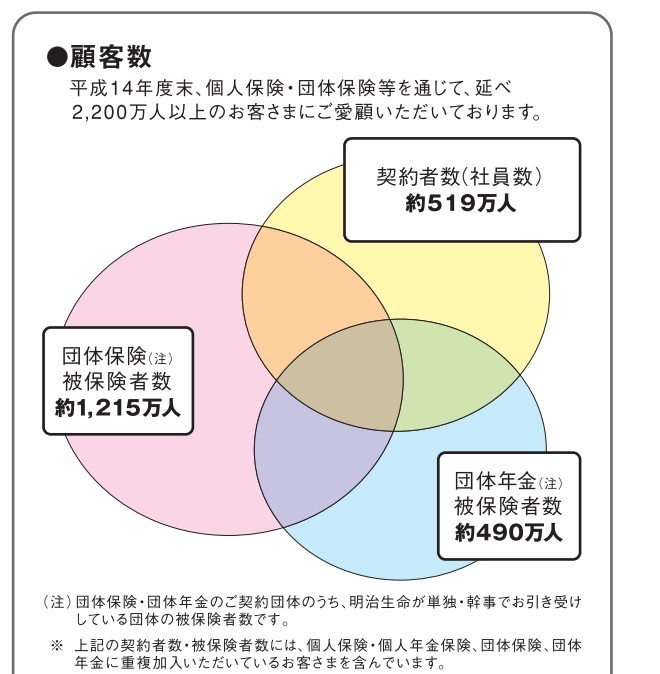
項目	平成14年度末	平成13年度末
ソルベンシー・マージン総額(A)	11,105	14,240
① 資本の部合計	3,240	2,896
② 価格変動準備金	722	697
③ 危険準備金	2,429	2,429
④ 一般貸倒引当金	175	294
⑤ その他有価証券の評価差額(税効果控除前)×90%	1,808	4,742
⑥ 土地含み損益	△641	△518
⑦ 負債性資本調達手段等(劣後ローン、劣後債等)	—	—
⑧ 控除項目	—	—
⑨ その他(保険契約準備金の一部、税効果相当額等)	3,370	3,699
リスクの合計額(B) $\sqrt{⑩^2 + (⑪+⑫)^2 + ⑬}$	4,175	4,673
⑩ 保険リスク相当額	1,176	1,217
⑪ 予定利率リスク相当額	817	866
⑫ 資産運用リスク相当額	3,082	3,529
⑬ 経営管理リスク相当額	101	112
ソルベンシー・マージン比率		
(A) / (1/2) × (B) × 100	532.0%	609.4%

(注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条および第190条ならびに平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。
2. 「資本の部合計」には社外流出予定額およびその他有価証券の評価差額を除いた金額を記載しています。
3. 「控除項目」は、平成8年大蔵省告示第50号第1条の2に規定する他の保険会社又は保険業法第106条第1項第3号から第5号までに掲げる子会社等の資本調達手段について、意図的な保有相当額があればこれを記載しますが、当社では該当項目はありません。

実質純資産額 (単位:億円)

	平成14年度末	平成13年度末
実質純資産額	13,623	16,283
(総資産に対する比率)	8.4%	9.5%

(注) 「保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令」第3条第2項の規定に基づき算出しています。



MEIJI LIFEプロフィール (平成14年度末)

- 創業.....明治14年7月9日
- 保有契約高(個人保険・個人年金保険・団体保険の合計).....167兆2,991億円
- 新契約高(個人保険・個人年金保険の合計).....8兆8,907億円
- 保険料等収入.....2兆1,847億円
- 保険金等支払金.....2兆1,486億円
- 総資産.....16兆2,431億円
- 基金総額.....2,200億円
- 従業員数.....34,437人 (うち営業職員数 28,083人)

お役に立ちました

平成14年度、お客さまにお支払いした保険金等支払金は総額で2兆1,486億円に達しました。うち、保険金・年金は8,926億円、給付金は4,579億円と、多くのお客さまのお役に立っています。

当社の格付 (平成15年5月1日時点)

A+ (株)日本格付研究所 保険金支払能力格付
BBB+ スタンダード&プアーズ(S&P) 保険財務力格付
A AMベスト社 保険財務力格付

「格付」とは、会社の収益力・財務状況などを、さまざまな角度から総合的に評価し、わかりやすい記号で表したものです。

※「保険金支払能力格付」は、保険金支払債務を契約とおり支払うことができる能力を評価したものです。「保険財務力格付」は、保険契約の諸条件に従い保険金を支払う能力に関し、保険会社の財務内容について評価したものです。
※左記の格付は、当社が依頼して取得したものです。
※格付は、個別の保険契約の加入・解約・継続を推薦するものではありません。
※格付は、左記時点での格付会社の意見であり、将来的に変更・保留・撤回されることがあります。